

鯉沢中学校 第3学年 道徳科学習指導案

1. 主題名 正しい異性理解 (B-(8) 「友情, 信頼」)
2. 教材名 「アイツの進路選択」(出典:「中学生の道徳3 自分をのばす」 あかつき)
3. 主題設定の理由

- (1) ねらいとする価値

中学生は急激な成長を遂げる時期であり、中学3年生ともなると見た目は大人顔負けの生徒もいる。しかし、心の成長は必ずしも身体の成長に伴うわけではない。異性関係についても同様に、一時的な感情や衝動に支配され、思慮の浅い行為に至る危険性をはらんでいる。真の信頼は、同性間であれ、異性間であれ相手を尊重し、ともに高め合うことによって生まれることを理解させ、一人ひとりの生徒に望ましい人間関係を築いていく契機としたい。

- (2) ねらいにかかわる生徒の実態

(略) 本授業を通じて、人間関係において、相手の気持ちを受容しつつも、自分の気持ちを正直に伝える必要性に気づかせたい。

- (3) 教材について

中学3年生の真一と夏樹は幼なじみで、中学1年生の中頃から付き合っている。その二人が進路選択という大きな壁に直面する。真一は進路希望調査にあたり、以前希望していた進路で良いのか迷いが生じている。夏樹は、真一と同じ高校に進学することを約束していたので、真一の進路変更に戸惑いを感じる。その後、夏樹の母親からの電話で、夏樹が真一と同じ進路希望に変更したことを知らされる。真一は言いようのない不安と戸惑いを感じる。高校進学をめぐって揺れ動く二人の心情を考えるを通して、異性について正しい理解を深め、お互いを認めながら、高め合おうとする道徳的態度を育むことのできる教材である。

4. 校内研究とのかかわり

本校の研究主題は「生き生きと意欲的に学び合う生徒の育成 ～自ら考え、判断し、表現できる力を養う授業の創造と家庭学習(自主学習)の充実～」である。また、学校教育目標「ふるさと鯉沢を愛し、活力にあふれ、人間性豊かな生徒の育成」のもと、平成25年度から27年度までの3年間にわたり、県教委から「やまなし」道徳教育推進校の指定を受け、県中西部地域の全中学校に授業提供を行ってきた。この研究成果をもとに、平成28年度からは継続して「道徳教育の充実」を研究の柱の1つに据え、「考え、議論する道徳」の授業研究を進めてきた。

「自ら考え、判断し、表現できる力を養う」ために、本授業では、登場人物になりきり、役割を演じる体験的な学習を取り入れ、実感を伴った活動を促した。また、学習形態の工夫として個人でじっくり考える時間を確保し、ペアやクラスで考えを共有する時間を設けた。

5. 本時

(1) 日 時：平成30年7月6日（金）6校時

(2) 場 所：鯉沢中学校 3年生教室

(3) ねらい：真一と夏樹の進路選択のちがいについて考え，真一の立場になって思いを伝える体験的な学習活動を通して，異性間における信頼関係について理解を深め，互いに認め合い，高め合おうとする道徳的態度を育む。

(4) 展開

過程	学習活動と主な発問	学習の様子を見取る視点	指導上の工夫・留意点
導入 5分	1. 本時の学習内容を確認する。 2. 登場人物を紹介する。	「相手のことを思うとは」について考えることを知る。 教材を読む前に，真一と夏樹の関係をおおまかに捉える。	・できるだけシンプルな導入を行う。 ・「同じ高校に行こうと約束」していることを押さえる。
展開 40分	3. 教材のおさらいをする。 真一と夏樹の進路選択のちがいは何ですか。 ※ 何を優先？ ※ 進路を決める動機は？	整理しながら，話をきちんと聞いている。	・教材が長いので，事前に範読する。 (朝読書の時間の活用)

<p>真一</p> <p>① 北西工業 建築 →</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>③ 「将来何になりたいか よくわからない」</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>④ 水明高校普通科 進路変更 →</p> <p style="text-align: center;">「夏樹のことは好きだが、 高校で後悔するのはいや」 (自分の将来を優先)</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>⑥ 言いようのない不安と 戸惑い (読み物の最後)</p>	<p>夏樹</p> <p>② 「同じ高校に行きたい」 北西工業 PC</p> <p style="text-align: center;">→</p> <p>⑤ 水明高校普通科 進路変更 「真一と違う高校に行く のは絶対にいや」 (真一との高校生活を優先)</p>
--	---

過程	学習活動と主な発問	学習の様子を見取る視点	指導上の工夫・留意点
展開 40分	<p>※ 夏樹の進路変更を知った真一はどう思った？</p> <p>4. 真一の今後の行動について考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>「お互いのためになる進路選択」をするために、真一はどんな行動をしたら良いでしょう。</p> </div> <p>※ その心は？ (考えの根拠を問う)</p> <p>5. ねらいに迫る発問について考える。 (体験的な学習活動)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>真一になったつもりで、夏樹に自分の思いを伝えましょう。</p> </div> <p>※ キーワード・伝えたい大切なことは何か？</p> <p>※ ○○のような切り返しがきたらどうする？</p>	<p>不安</p> <ul style="list-style-type: none"> ・俺のせいで夏樹の将来を狂わせてしまうかも ・俺をおもってくれるのはうれしいが、もっと自分を大切にしてほしい <p>戸惑い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「好き」＝「進路」ではない ・冷静な判断ではない ・押しつけ、束縛 ・自分の将来は二の次 <ul style="list-style-type: none"> ・深く考えずに約束をしたことを謝る ・今の正直な気持ちを話す ・お互いにとって良い道を話し合う ・自分の考えを夏樹に伝える ・自分の将来を大事にするべきだと説得する <ul style="list-style-type: none"> ・深く考えずに約束して振りまわしてしまつてごめん。でも、お互いのためになる進路選択をしないといけないと思うんだ。 ・一緒にいたいのは同じさ。でも、夏樹にははっきりした夢があるじゃないか。そのためにも北西工業に行くべきだよ。 ・離れ離れになつても夏樹のことをずっとおもっているよ。違う高校になるのはさみしいけど、励まし合つていこう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・夏樹が真一の考えに左右されてしまっていること、そのことに真一が戸惑っていることに気づかせる。 ・起こす行動について考えさせるとともに、その行動の根拠を聞く。 ・「6.ねらいに迫る発問」につなげる (謝る・話す・話し合う・伝える・説得する) ・考えをまとめられない生徒に配慮して、個人で考える時間を確保する。その後、ペアで考えを伝え合い、セリフを設定する活動を行う。(ホワイトボード活用) ・多面的、多角的な考えが広がるよう、意図的に指名。 ・指導者が夏樹役になり、生徒は真一になったつもりで疑似体験を行う。その時、切り返し問い、それにも答えさせる。

過程	学習活動と主な発問	学習の様子を見取る視点	指導上の工夫・留意点
終末 5 分	6. 「(本当の意味で) 相手を思うとは」という観点で、今日の授業で考えたこと、学んだことを文章化する。	授業を通して考えたこと、学んだことを、自分の言葉で記述している。	・必要に応じて、異性関係に限らず、もっと広い人間関係について、自分の生活を振り返りながら書くよう伝える。

6. 評価計画

真一の進路選択に、夏樹が左右されていることを理解させるとともに、真一がそのことに戸惑い、不安に思っていることに共感させる。その上で、「お互いのためになる進路選択」という視点で、その後の真一の具体的な行動や言葉がけについて真摯に考えているかを見取る。また、体験的な学習活動と異性関係における「(本当の意味で) 相手を思うこととは」を文章化する活動を通して、道徳的価値の深まりを見取る。


7. 事後指導

終末で文章化したことを学級通信で紹介し、短学活等を使ってクラス全体で共有する。


8. 板書計画


アイツの進路選択

「相手のことを思う」とは？



自分の将来を優先
真一





夏樹
真一との高校生活を優先

北西工（建築） ⇨ 「同じ高校へ」

⇩

「将来何になりたいか？」

⇩

「好きだけど、後悔したくない」

水明高（普通） ⇨ 「違う高校は嫌」

⇩

不安・戸惑い

お互いのために・・・

・話し合う ・伝える ・説得

真一になったつもりで、夏樹に自分の思いを伝えましょう。

「(本当の意味で) 相手を思うとは」？

